

平成 28 年度 横浜市つたのは学園事業計画

横浜市つたのは学園は、横浜市より指定管理業務を受託して 8 年目を迎えた。利用者の確保に向けて各関係機関と情報交換を行っている。平成 27 年度は、特別支援学級から 5 名の新規受け入れを行い、38 名の在籍でスタートした。利用の方は、年齢も 18 歳から 66 歳の方が通所されている。障害支援区分では区分 3 の方から区分 5、6 の方の幅広い障害の方の利用となっており、区分 5、6 の方は全体の 61.7% であり、排せつ介助、食事（嚥下）介助、移動介護など個別支援が必要な方が多い。また、ご家族の方も高齢になっており家族への支援も重要な課題となっており、家族が問題を抱え込まないように相談窓口を広げながら支援を行っていききたい。

1. 重点目標

(1) 利用者数の増加について

地域の見学者や養護学校・個別支援学級等の実習を積極的に受け入れる。

また、緑区や青葉区など地域の関係機関とも連絡を取りながら、在宅の障害者の状況も把握していく。

(2) 生活介護としての幅広いニーズに答えられる日中プログラムを提供する

機能維持、健康維持、体力維持を中心とした活動から緩やかな生産活動を行うプログラムの提供を行うなど個々の自己実現に向けたプログラムの充実を行う。

(3) 権利擁護について

虐待防止委員会を中心に各職員の振り返りや、職員全体での意識を深めていく。

(4) 第三者評価の評価を基に次期指定管理の充実化を図る。

2. 管理面について

(1) 限られた予算の中で、事業内容の充実や増えていく修繕費等について施設運営面で効果的な予算執行を目指し、利用者・職員が安全かつ合理的に活動できるようにする。

(2) 横浜市の補助金で、医務室の改修工事と建物全体の電気 受変電設備の更新工事、照明器具交換工事が行われる。工事期間・工事時間等の調整については利用者の安全を配慮しながら、横浜市、長津田地区センターと連携をとりながら行っていく

(3) 人材確保・計画的な研修を受け、より人材育成に努める。

強度障害の利用者も多い為、積極的に研修に参加し専門的な支援方法の向上を図る。

(4) 送迎体制の再検討と実施

公用車の維持管理や委託業者とも定期的に話し合い、送迎職員の人材を含めスムーズな運航ができるようにし、送迎体制の充実を図る。

(5) 短期入所については、法人内の事業所の協力を依頼しながら、他法人の活用を促していく

(6) 日中一時支援事業は、在宅生活でのニーズが高く、極力受け入れを行い在宅支援の一助とする。

(7) 業務運営会議・職員会議・支援会議・班会議・委員会会議など定期的な開催により、各職員の意識向上と積極的な活動を行う。

(8) 地域交流委員会を設置し地域の関係機関・地域の活動に利用者及び職員も積極的に参加をしていく。

3. 支援面について

- (1) 自宅送迎を3回に増やすことによって、高齢の家族の送迎の負担軽減や利用者の活動の継続と保障を行う。
家族の方も高齢になり、体調不調等で送迎が出来ずにお休みする方が増えてきている。また、利用者のひきこもりになっている方もおり、定期的に訪問することで継続的に通所できるようにする。
- (2) 3班に分けることによって、各利用者のニーズに合わせた支援の充実を行う。
各班がそれぞれの班の利用者の状況を把握しながら、緩やかな生産性のある活動も視野に入れる。
- (3) 入浴支援が行える環境をいかし、効果的に活用し充実を図る。
- (4) 利用者の健康管理、機能維持については、引き続き嘱託医、訪問PT等の協力を得て、医療カリキュラムの遂行と専門的な医療対応・リハビリテーションの支援の継続を行う。
また、月1回の定期的な健康相談の実施と医療機関の紹介や必要があれば通院同行も行っていく
- (5) 個別支援計画の充実と各利用者の支援マニュアルの作成を行う。
利用者の全体像を把握できる個別支援計画の中に本人のストレングス（強み）の見方を入れた作成ができるようにする。
個々の支援マニュアルの作成を行い、安定した支援の統一を図る
- (6) 人権擁護に関する意識を高め、虐待防止のシステムを構築し、Yネット（横浜ふくしネットワーク）オンブズパーソンの協力を得て、市民の目を通した意見と利用者家族の思いを支援に生かす。
- (7) 年1回の宿泊旅行や各クラブ活動等の余暇活動支援の充実を行う。

4. 家族会、家族との関係

- (1) 家族会開催は、毎月長津田地区センターの休館日に変更する。
- (2) 家族会では、横浜市や、施設の情報提供や情報交換を行い協力関係を築いていく。
- (3) 嘱託医の協力や常勤看護師によるご家族からの医療的相談を積極的に行っていく。
- (4) 家庭訪問、個別相談を通し、家族との連携を強化する。

5. 地域との関係

- (1) 10月に地域交流事業として、平成28年度も「つたのは学園まつり」を長津田地区センター祭り、横浜市立長津田小学校と3施設合同で開催し、地域とのかかわりを深める。
- (2) 長津田地区センターとの定期協議を通し、地区センターとの共催事業を引き続き実施する。
- (3) 緑区の福祉施設等分科会に参加し、地域との連携を深めると共に「災害時の回覧板を利用した取り組み」に継続して参加し、情報交換を行いながら災害時の協力体制を深める

6. その他

- (1) ホームページ・ブログの更新を随時行いながら、活動の様子などを外部に、紹介する
- (2) 年2回の広報誌の発行を行い、より地域の方との理解を深める。